事業報告書

令和 2（2020）年度

（第八期）

自 2020（令和 2）年 4 月 1 日

至 2021（令和 3）年 3 月 31 日

公益社団法人 国際演劇協会日本センター

(1) 法人の概況

【公益社団法人国際演劇協会日本センター】

［定時社員総会］ 令和 2 年 6 月 28 日（日）10：02～11：43
Zoom によるオンライン会議

- 第七期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書及び財産目録承認の件
- 令和元年度事業報告、監査報告
- 令和 2 年度事業計画および正味財産増減予算書について
- 令和 2 年度会員異動について
- 寄付募集含めたクラウドファンディング開始について
- その他「緊急事態舞台芸術ネットワーク」「演劇緊急支援プロジェクト」「持続化給付金」について

［理事会］

第一回通常理事会
※新型コロナウィルスの影響を考慮し、定款第 41 条「理事会の決議の省略」に基づき書面議決による承認

- 第七期（平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 3 月 31 日まで）事業報告書および決算書報告書の承認
- 定時社員総会の招集
- ロイヤルシェイクスピアカンパニー来日公演『じゃじゃ馬ならし』中止について
- 会員異動の報告
- 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告
-

第二回通常理事会　令和 2 年 10 月 17 日（土）　10:00～11:48
Zoom によるオンライン会議

- 令和 2 年度事業の進行状況報告、了承
- 謝金等の基準単価に関する規程の変更について
- 会員異動について
- 代表理事・業務執行理事の職務執行報告
- 来年度実施予定の事業に関する意見交換
- 戯曲翻訳部会セゾン文化財団への助成申請提出報告
- 日本から劇団を推薦または派遣を予定していた中国での演劇祭中止の報告
- ITI 本部のアジア太平洋地域ミーティングについて報告

第三回通常理事会　令和 3 年 3 月 20 日（日）

- 令和 3 年度事業計画及び正味財産増減予算書案の討議・承認
- JKA 補助金事業の実施について

・ 選挙管理委員 3 名の議決
・ 会員異動（入会希望者の承認）
・ 代表理事・業務執行理事の職務執行報告
・ 会員となっている日韓演劇交流センターの現況について報告

［事業委員会］

第一回事業委員会 令和 2 年 9 月 19 日（土）10：00～12：00 Zoom によるオンライン会議

・文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」への申請について
・「紛争地域から生まれた演劇12」について
・『国際演劇年鑑2021』編集企画案について
・「ワールド・シアター・ラボ」について
・「この子たちの夏」について
・ ITI 世界大会とオンラインによる臨時総会について

［会員状況］

（正会員） 令和 2 年 3 月 31 日時点・・・211 名（個人会員 206 名 団体会員 5 団体）
令和 3 年 3 月 31 日時点・・・206 名（個人会員 204 名 団体会員 3 団体）

（R2 年度会員異動） 入会・・・3 名
退会・・・3 名
団体会員から個人会員への変更・・・2 名
ご逝去・・・5 名

（賛助会員） 令和 2 年 4 月 1 日時点・・・30 社
令和 3 年 4 月 1 日時点・・・28 社
（R2 年度 賛助会員異動） 退会・・・2 社

（2）『国際演劇年鑑 2021』の編集・刊行・配布

『国際演劇年鑑 2021 Theatre Yearbook 2021』

（日本語版）世界の舞台芸術を知る『Theatre Yearbook 2021 Theatre Abroad』
（英語版） 日本の舞台芸術を知る『Theatre Yearbook 2021 Theatre in Japan』
別冊 『戯曲集 紛争地域から生まれた演劇 12』
編集（英語版／日本語版／別冊とも）
編集長／新野守広 事業担当理事／曽田修司
印刷部数 日本語版 1050 部 英語版 1000 部 別冊 600 部

配布先
『Theatre Yearbook 2021 Theatre Abroad』→ 関係官庁、在日公館、図書館、大学演劇科、執筆者、編集委員、演劇関係者/関係団体、ITI 会員、在外日本大使館、写真提供者など
『Theatre Yearbook 2021 Theatre in Japan』→ 関係官庁、在日公館、図書館、国外関係団体（在外日本大使館、海外図書館）、執筆者、編集委員、写真提供者 等
『戯曲集 紛争地域から生まれた演劇 12』→ 国内図書館、大学演劇科、執筆者、編集委員、ITI 会員等

発行日　令和 3（2021）年 3 月 27 日

【特集企画】
「紛争地域から生まれた演劇 12」リーディング公演
日時 2020 年 12 月 11 日（金）～13 日（日）3 回公演
＊アーカイブオンライン配信の実施（2020 年 12 月 18 日 10:00～12 月 24 日 23:59）
会場　東京芸術劇場　アトリエウエスト
上演演目　『イサク殺し』
作　モティ・レルネル（イスラエル）、翻訳　村井華代、演出　小林七緒（流山児★事務所）
出演　藤井びん（ワンダープロ）、井上加奈子（アル☆カンパニー）、上田和弘（流山児★事務所）
辻京太（アンフィニー）、山﨑薫（ジェイクリップ）、伊藤俊彦、荒木理恵（流山児★事務所）
山下直哉（流山児★事務所）、佐藤正宏（WAHAHA 本舗）、勝俣美秋、
今野健太（THEATRE MOMENTS）
音楽　諏訪創（流山児★事務所）

【入場者数および視聴者数】
・入場者数 ： 81 名（3 回公演）　・オンライン配信視聴者数　のべ 98 名

【関連企画】
「国際演劇年鑑」ワールド・シアター・レポート＃File 7 インド「インド社会と舞台芸術」
講師　鶴留聡子（舞台制作者／インド・ケーララ州在住）
日時　2020 年 11 月 8 日（日）19 時～20 時
オンライン（Zoom ウェビナー）でケーララと東京を結んでの実施
入場者数　47 名（無料）

「国際演劇年鑑」ワールド・シアター・レポート＃File 8 イタリア
「コロナ禍のローマで再考する演劇の役割」
講師　山ノ内春彦／Hal Yamanouchi（俳優・振付・マイム／ローマ在住）
日時　2020 年 11 月 14 日（土）19 時半～21 時
オンライン（Zoom ウェビナー）でローマと東京を結んでの実施
入場者数　27 名（無料）

令和 2（2020）年度文化庁　次代の文化を創造する新進芸術家育成事業（調査研究・委託事業）
主催　　文化庁／公益社団法人国際演劇協会日本センター
共催　　東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）（「紛争地域から生まれた演劇 12」）
企画制作　公益社団法人国際演劇協会日本センター

（3）「次代の翻訳者育成セミナー」（「ワールド・シアター・ラボ」）

＜リーディング公演：2 作品＞
『ウエストブリッジ』（公演：計１回、公開ゲネプロ：計１回）

日時 2021年2月13日（土）11:30開演
会場　せんがわ劇場
作：レイチェル・デ＝レヘイ、翻訳：小田島創志、演出：扇田拓也（空 観）
出演：木山廉彬、安藤みどり（俳優座）、菊池夏野、箱田暁史（てがみ座）、藤井咲有里、
久我真希人（空 観）、中田春介、間瀬奈都美

『自殺の解剖』（公演：計１回、公開ゲネプロ：計１回）
日時 2021年2月14日（日）11:30開演
作：アリス・バーチ、翻訳：關智子、演出：生田みゆき（文学座）、演出助手:田丸 一宏
出演：磯田美絵、梅村綾子、亀田佳明、佐藤彩香、渋谷はるか（以上、文学座）、井上夕貴、手打隆盛、
茂手木桜子（以上、さいたまネクスト・シアター）、西村俊彦（ヘリンボーン）、横山晃子、今井聡

リーディング公演入場料　1,500円
リーディング公演（2 作品） 総入場者数　99 人

＜戯曲読解ワークショップ：2 作品＞　※Zoom ウェビナーによるオンライン開催
『ウエストブリッジ』（計４回）
ファシリテーター　黒澤世莉
参加者　９名
受講料　3,000円

日時・内容
①2021 年 1 月 26 日（火）18:30～21:30 翻訳者レクチャー・戯曲を読む
②2021 年 1 月 28 日（木）18:30～21:30 音読・ディスカッション／戯曲構造を探る
③2021 年 1 月 30 日（土）13:30～16:30 音読・ディスカッション／作品の背景を深める
④2021 年 1 月 31 日（日）13:30～16:30 プレゼンテーション「私のウエストブリッジ論」（800～1000 字レポートを提出　）

『自殺の解剖』（計４回）
ファシリテーター：瀬戸山美咲
参加者　10 名
受講料　3,000円

日時・内容
①2021年1月25日（月）18:30～21:30　翻訳者レクチャー・戯曲を読む
②2021年1月27日（水）18:30～21:30　全体を音読・ディスカッション
③2021年1月29日（金）18:30～21:30　パート毎に音読・分析
④2021年1月30日（土）18:30～21:30　全体を音読・分析

文化庁委託事業「令和２年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
次代の翻訳家育成セミナー「ワールド・シアター・ラボ」
主催　文化庁、公益社団法人　国際演劇協会日本センター

提携　公益財団法人　調布市文化・コミュニティ振興財団
制作　公益社団法人　国際演劇協会日本センター

（4）海外で活動するプロフェッショナルシリーズ〈特別編〉
－コロナ禍のアーティスト座談会－

日時：2020年10月25日（日）19時～21時　参加費：無料
オンラインにて開催　※イベント終了後も1ヶ月程度アーカイブ映像を無料で閲覧可能
登壇者：竹中香子（俳優在フランス）、原サチコ（俳優在ドイツ）、菅江一路（ダンサー在フランス）、近藤瑞季（演出家在ベルギー）、外間結香（俳優在フランス）、神沢希洋（翻訳家在アメリカ）、萩原健（明治大学国際日本学部教授）
コーディネーター：横堀応彦（跡見学園女子大学講師）・竹中香子
文化庁　令和２年度 文化芸術活動の継続支援事業補助事業

（5）海外戯曲を上演するための著作権連続講座（全3回）

日時　2020年10月20日、26日　オンラインにて開催
参加費　2,000円（全3回）　参加者数　66名

第1回　著作権全般の基礎知識
日時　2020年10月20日（火）16:15～17:45
登壇者　福井健策（骨董通り法律事務所）
司会　中山夏織

第2回　翻訳戯曲上演のために１－英語圏の著作権について―
日時　2020年10月26日（月）13:00～15:00
登壇者　マーティン・ネイラー、吉田和宏（シアターライツ）
通訳　角田美知代、司会　後藤絢子、会場　南青山MANDALA

第3回　翻訳戯曲上演のために２－フランス語圏の著作権について―
日時　2020年10月26日（月）17:30～19:00
登壇者　カンタン・コリーヌ、小澤美奈（フランス著作権事務所）

コーディネーター　青柳敦子（国際演劇協会日本センター翻訳戯曲部会運営委員・演出家）
NPO法人アートネットワーク・ジャパン
配信協力　南青山MANDALA
配信スタッフ　深澤まどか、野村亮太
文化庁　令和２年度 文化芸術活動の継続支援事業補助事業

（5）『この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ』上演中止

以下の通り上演を予定していたが、新型コロナウィルスの影響で公演中止を余儀なくされた。
（2020年6月4日　北海道公演の中止を受け、東京公演の中止を決定。2020年6月28日 国際演劇協会日本センター社員総会で令和２年度の中止を報告）。
日時　2020年8月8日（土）・9日（日）　全3回公演

会場　世田谷パブリックシアター　シアタートラム
2020年度JKA補助事業

（6）ロイヤルシェイクスピアカンパニー来日公演『じゃじゃ馬ならし』上演中止

・当センターが主催の一端を担う予定であった以下の英国ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー来日公演『じゃじゃ馬ならし』は、新型コロナウイルスの影響で公演中止を余儀なくされた。(2020年3月27日発表)

会場　東京芸術劇場　プレイハウス
公演日程　2020年6月12日（金）～6月14日（日）

(7) 後援

・2020 年度文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
2020 年度　全日本バレエ・コンクール
日時　2020 年 6 月 7 日（日）
会場　メルパルクホール
主催　　文化庁、公益社団法人日本バレエ協会
制作団体　公益社団法人日本バレエ協会
※上記コンクール中止決定（2020 年 5 月 18 日付文書にて連絡あり）

（6）広報事業

◆ITI ニュース No. 132 を発行（2021 年 1 月 31 日）

◆ITI ウェブサイト、Facebook、Twitter を随時活用

（7）その他

◆ITI バーチャル・オンライン世界大会への参加
日時：2020 年 12 月 10 日（木）～14 日（月）
場所：オンライン開催
参加者：ITI 加盟各センター
①ITI 日本センターのデモンストレーション映像放映
内容：国際演劇年鑑の編集発行と「紛争地域から生まれた演劇」をはじめとした海外戯曲紹介の取り組みについて紹介するデモンストレーション映像を作成し放映する。
映像制作：吉本直紀（スタジオ 0033）
制作進行：横堀応彦
②日本におけるコロナウイルス感染症に関連する状況報告
内容：日本国内でのコロナウイルス感染症に関連する状況を伝える原稿を作成し、英語に翻訳した上でプレゼンテーションを実施する。

翻訳：三輪えり花

文化庁 令和２年度第２次補正予算事業 「文化芸術活動の継続支援事業」活動継続・技術向上等支援Ｂ

◆令和 2 年度 英連邦部会の活動報告（報告：吉岩正晴）

コロナ禍のため外部での公演等は中止し、月１回 Zoom ミーティングを行い、互いの近況や海外の新作戯曲情報の交換、新訳戯曲の読み合わせ等を続けた。

・2020 年 7 月４日　石井あつこ＝訳　D.J.ブリトン＝作「オイディプスとアンティゴネー」の読み合わせ。
・2020 年 8 月 17 日・9 月１日　石川麻衣＝訳　トム・マーフィー＝作「ジーリの音楽会」の読み合わせ。
・2020 年 12 月 18 日　無料のオンライン・シアター『賢者の贈り物』（作＝O.ヘンリー/訳・脚色＝石井あつこ/演出＝三輪えり花 / 出演＝山下裕子、品川恵子、後藤祥子、本野斗志輝）をライブ配信し、78 名の一般視聴を得た。
・2021 年 2 月 23 日　浜野浩一＝訳 デイヴィッド・ヘア＝作

「BEAT THE DEVIL A Covid Monologue」を川口啓史さんで読んだ。

◆令和 2 年度 戯曲翻訳部会の活動報告（報告：青柳敦子）

コロナ禍のため、顔を合わせてのミーティングから Zoom ミーティングに切り替えて活動を行った。海外からの参加も可能になり、思いもよらぬ効果となった。

6 月には第一回総会を開催し、会則を制定。部会長：伊藤洋、副部会長：吉岩正晴、運営委員：青柳敦子、一谷真由美、石川麻衣、監査：中山夏織の各氏を選任した。

各国の戯曲情報の取り扱い方について議論を重ねる中、コロナ禍で発表された様々な作品群を紹介する事業を立ち上げるアイデアが提案され、2021 年 9 月 16 日（木）から 19 日（日）の 4 日間、ITI の主催事業として「Plays 4 Covid 孤読／臨読 ～コロナ禍で生まれた海外戯曲～」と題し、アメリカ、中国、アイルランド、ドイツの 4 作品をリーディング上演することが決まった。

（以下、実施計画）

会場：池袋シアターグリーン　Base Theater

上演作品は、下記の通り（現在上演許可申請中）

短編集『ひとり、ともに。－Alone,Together－』より

『Zoom・オーディション』　作：ジェイミー・ブランドリ（米）

『それでも私はこうしてここに』　作：リン・ローゼン（米）

『ママの子どもたち（Zoom での再会）』　作：シェリル・L・ウエスト（米）

訳：浜野浩一　演出：新見真琴

『隔離』

作：李 健鳴（中）　訳：菱沼彬晁　演出：奥田知叡

『Ja, es gibt eine Vision für die Theater der Zukunft』（邦題未定）

作：デーア・ローアー（独）　訳：庭山由佳　演出：三輪えり花

『面会時間』

作：フランク・マクギネス（アイルランド）　訳：石川麻衣　演出：青柳敦子

［事業報告の附属明細書］
事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。